

岩手県感染症週報

平成17年第39週（9月26日～10月2日）

岩手県結核 感染症情報センター

第39週の概要

1 類感染症

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、10週ぶりに患者発生の報告がありませんでした。本県のこれまでの患者報告数は、昨年全報告数と同数の83例です。患者の年齢層は5歳未満が38例ともっとも多く、次いで5-9歳が14例、10-14歳が8例、35-39歳が7例と、小さな子供ほど患者が多い傾向です。感染経路では、初発の患者についてはほとんどの例で感染源が不明でしたが、患者家族の調査により家族内での感染が多く確認されています。また、感染しても症状が現れない例が83例中24例と比較的多くみられました。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・水痘は、前週から患者数はほぼ横ばいで推移しています。
- ・風しんは、前週に引き続き花巻地区から1例の患者発生の報告がありました。
- ・夏季の小児のウイルス性疾患である手足口病とヘルパンギーナは、順調に減少しています。

4 類感染症

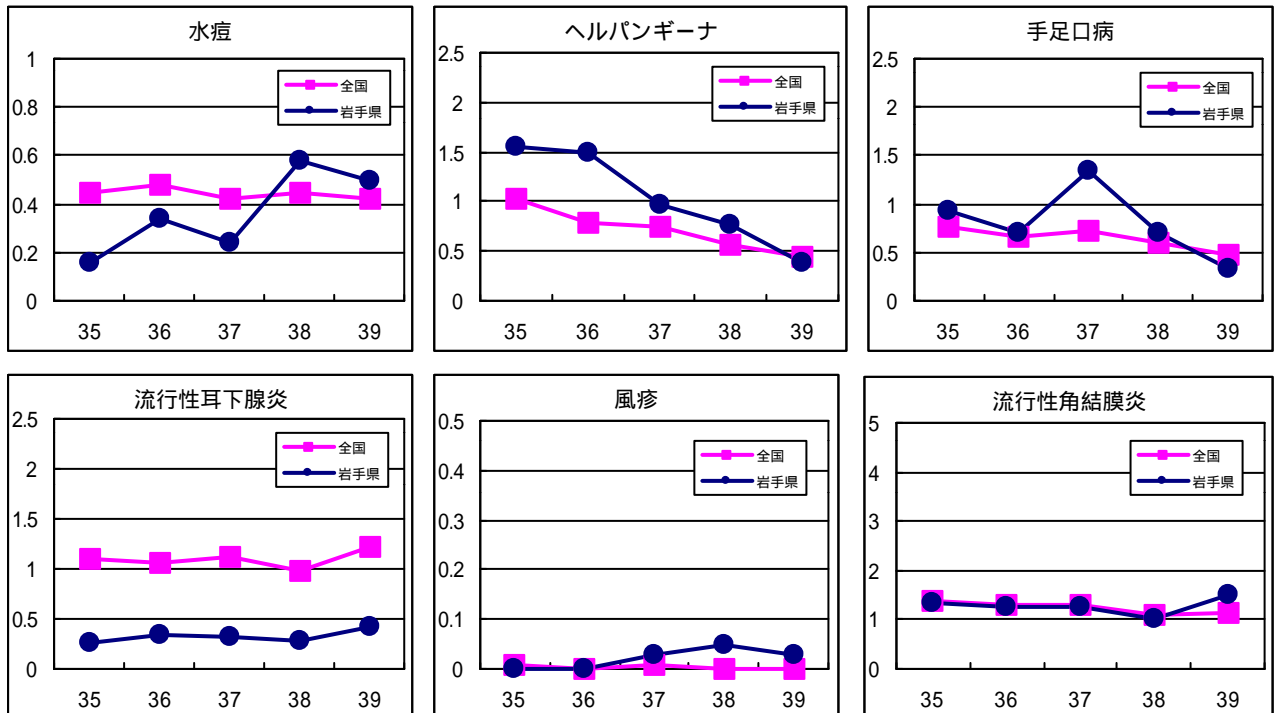
- ・つつが虫病の報告が1例ありました。患者は30歳代の男性です。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・後天性免疫不全症候群の報告が1例ありました。患者は60歳代の男性です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		35	36	37	38	39		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.04	0.02	0.02		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.11	0.08	0	0	→	
	全国	0.37	0.34	0.35	0.24	0.22		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.32	0.21	0.13	0.18	0.21	→	
	全国	0.49	0.49	0.52	0.46	0.54		
感染性胃腸炎	岩手県	2.26	2.32	1.71	1.61	2.13	→	
	全国	2.36	2.41	2.38	2.1	2.51		
水痘	岩手県	0.16	0.34	0.24	0.58	0.5	→	
	全国	0.45	0.48	0.42	0.45	0.42		
手足口病	岩手県	0.92	0.71	1.34	0.71	0.34	↘	
	全国	0.76	0.67	0.72	0.59	0.47		
伝染性紅斑	岩手県	0.11	0.13	0.08	0.05	0.03	→	
	全国	0.23	0.18	0.17	0.11	0.13		
突発性発疹	岩手県	0.76	0.32	0.45	0.58	0.39	→	
	全国	0.83	0.82	0.82	0.68	0.72		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0.05	0.03	→	
	全国	0.01	0	0.01	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.55	1.5	0.97	0.76	0.39	↘	
	全国	1.02	0.78	0.74	0.57	0.44		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.26	0.34	0.32	0.29	0.42	→	
	全国	1.09	1.06	1.12	0.98	1.22		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.02	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.33	1.25	1.25	1	1.5	→	
	全国	1.37	1.32	1.31	1.09	1.15		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	1	0	0	0	0	→	
	全国	56	74	94				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.06	0.07	0.05	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.1	0.25	0.2	0.2	→	
	全国	0.24	0.23	0.24	0.22	0.3		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↗ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県					累計	全国		
		(週) 35	36	37	38	39		39	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	7	40	
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0	2	22	445	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	39	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	12	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	10	4	2	2	0	83	83	2821	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	12	520	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	14	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	26	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	1	0	0	3	3	214	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	2	115	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	46	
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	1	4	8	871	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	53	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	10	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	1	5	1	106	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	54	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	46	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	1	1	0	0	0	3	5	400	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	77	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	55	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	50	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	6	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	6	181	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

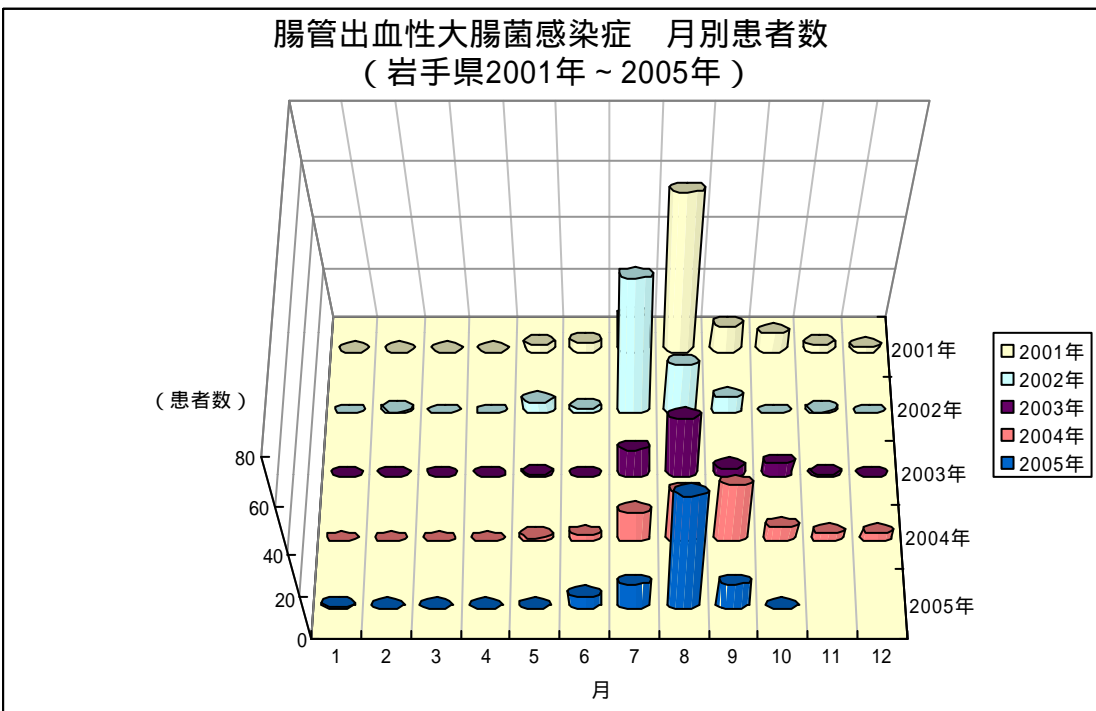
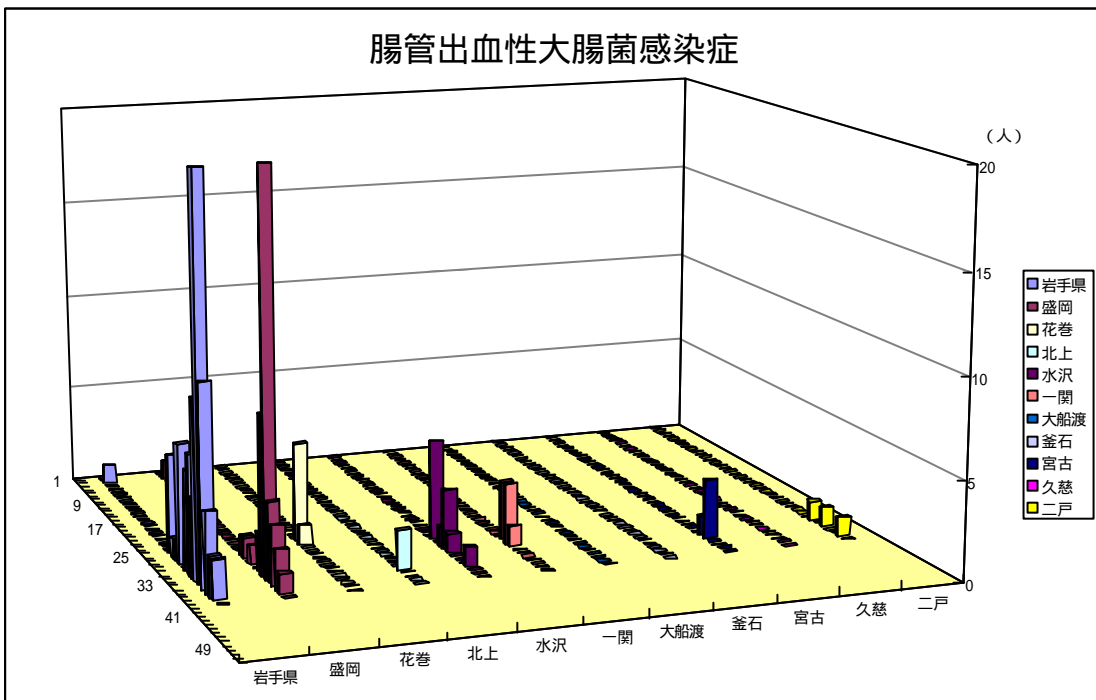
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、39週（9/26～10/2）までに83例の患者発生の報告がありました。例年夏季に患者数が多く、保育所や幼稚園などで集団感染を引き起こします。

潜伏期間は2～7日間と比較的長く、腹痛、下痢、血便などの症状を呈し発熱を伴うこともあります。しばしば溶血性尿毒症症候群（HUS）を併発し、死に至ることもあります。

感染力は非常に強く、食品を介した感染だけでなく、ヒトからヒトへの接触感染例も多く報告されています。食材はよく洗い十分に加熱する。食肉を扱った容器、包丁、まな板は熱湯などで消毒することが大切です。



病原体検出情報

- ・この週に検出された病原体はありません。

医療機関からの情報

- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・今週からウイルス性の感染性胃腸炎が増えてきた。これから要注意である。

集団感染情報

盛岡市立大新小学校における有症事例の発生について

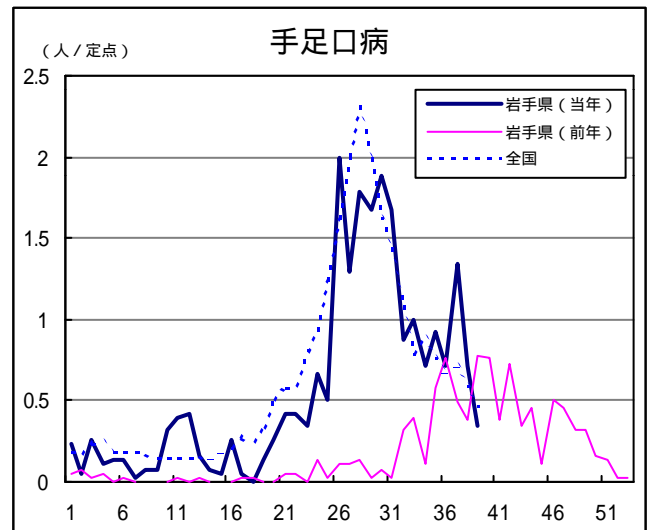
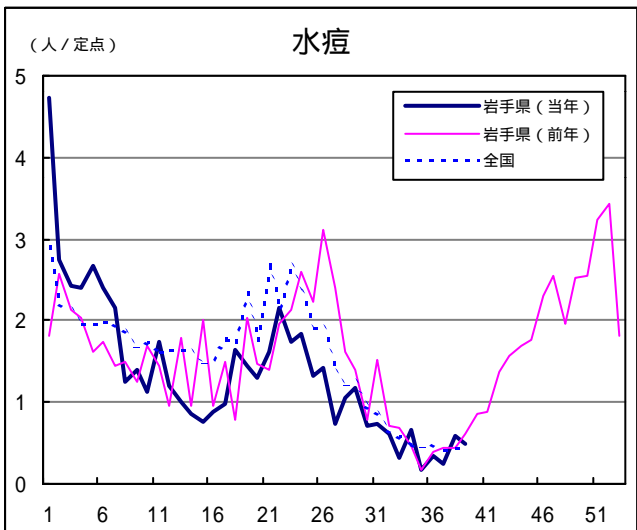
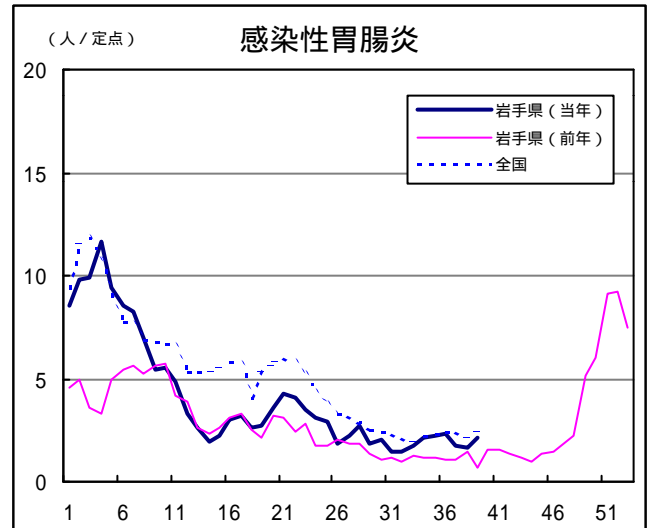
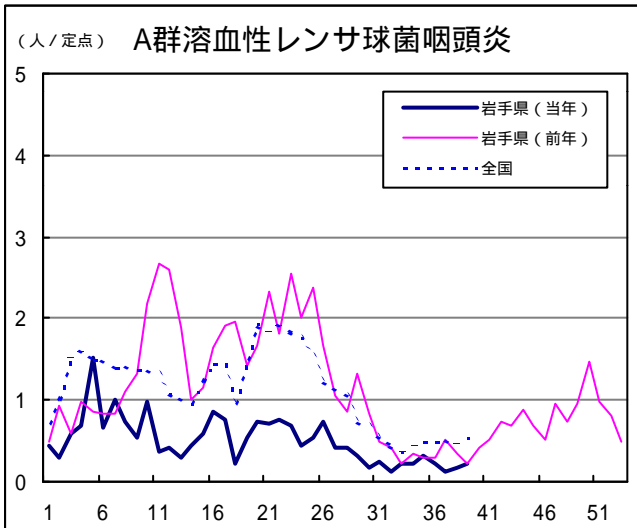
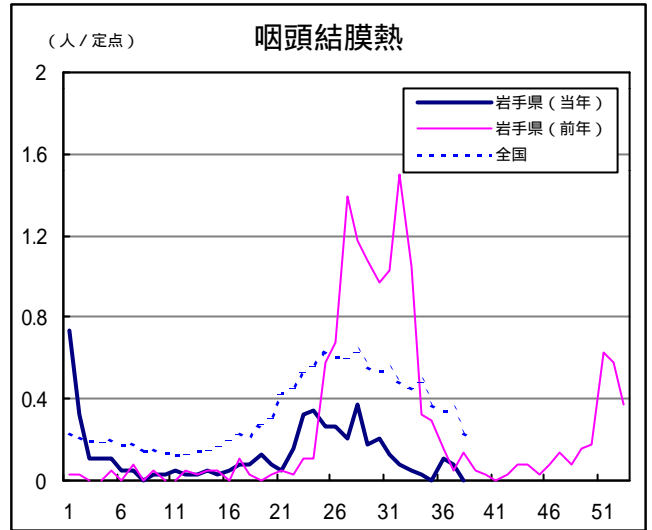
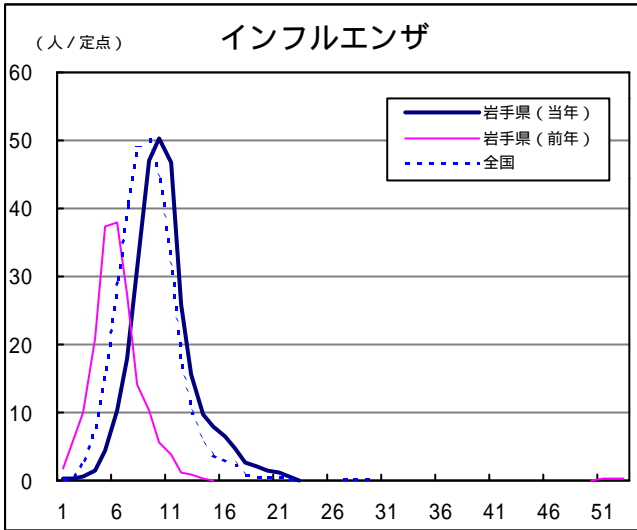
- 1 事件の探知
10月3日（月）午後2時20分頃、盛岡市内の医療機関から「発熱、嘔吐、下痢等の症状を呈する盛岡市内の小学校の児童4名を診察、治療を行っている。」旨の連絡が盛岡保健所にあった。
- 2 事件の概要
 - （1）有症者数 175名（うち通院34名）【全校生徒605名 教職員39名】
 - （2）症状 腹痛、下痢、頭痛、発熱、嘔気、嘔吐等
 - （3）発症日 10月1日～3日に集中
 - （4）転帰 ほぼ回復している
 - （5）病因物質 ノロウイルス（検査数6例のうち4例からノロウイルスが検出された）
- 3 今後の対応
 - （1）同校に対しては、消毒及び二次感染防止の指導を徹底することとする。
 - （2）盛岡保健所において、引き続き感染原因及び感染経路の調査を行っている。

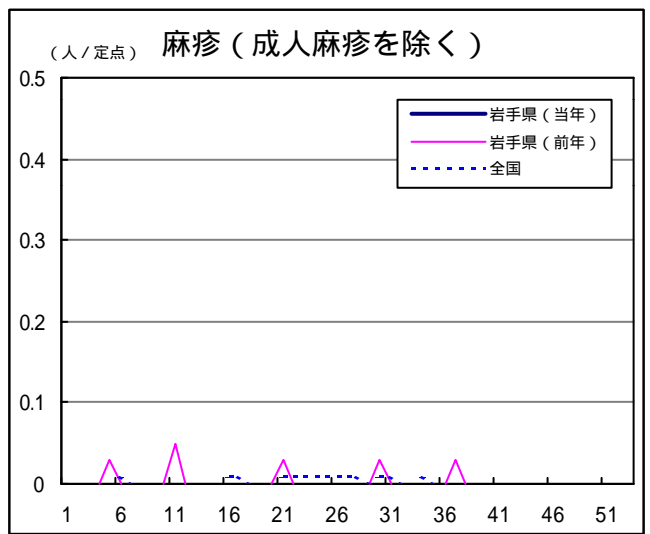
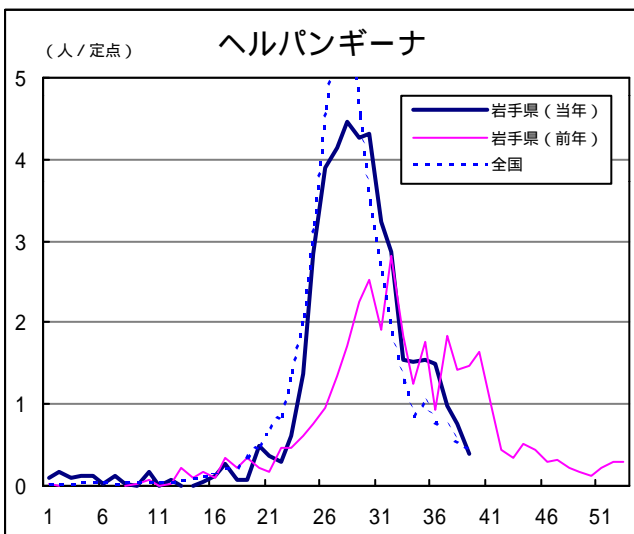
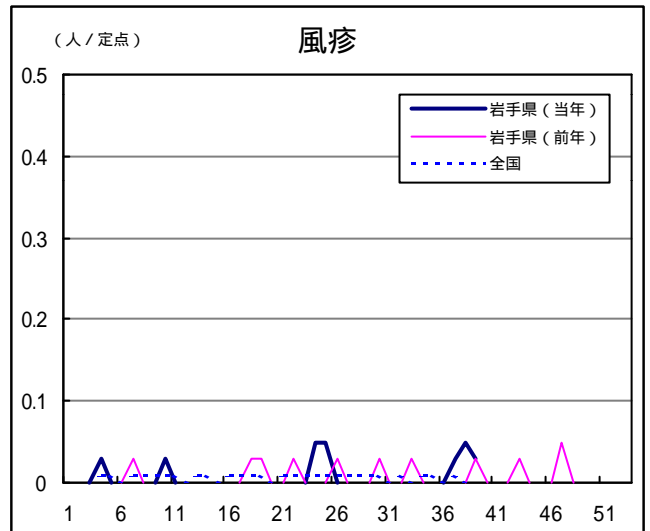
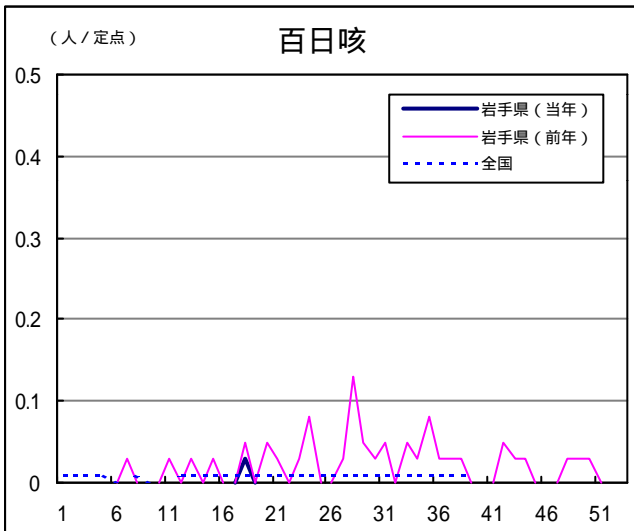
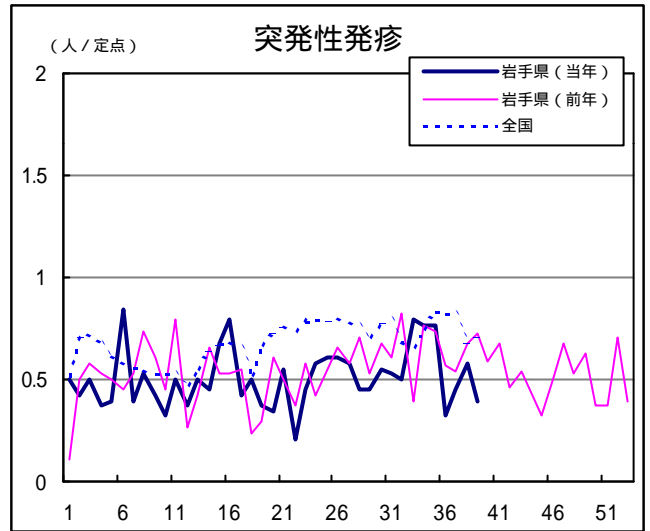
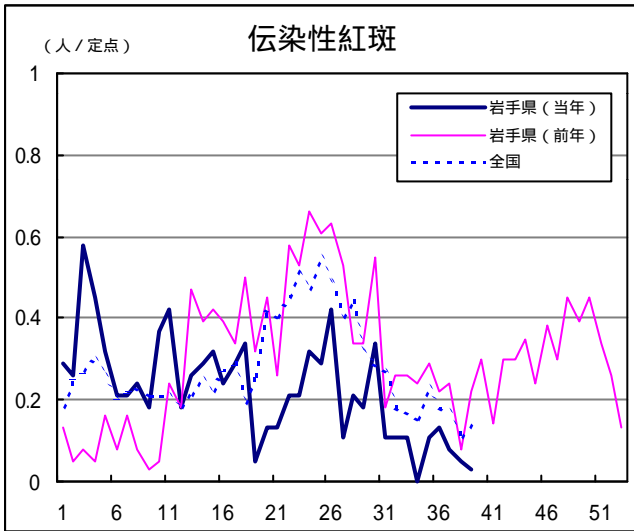
Q & A

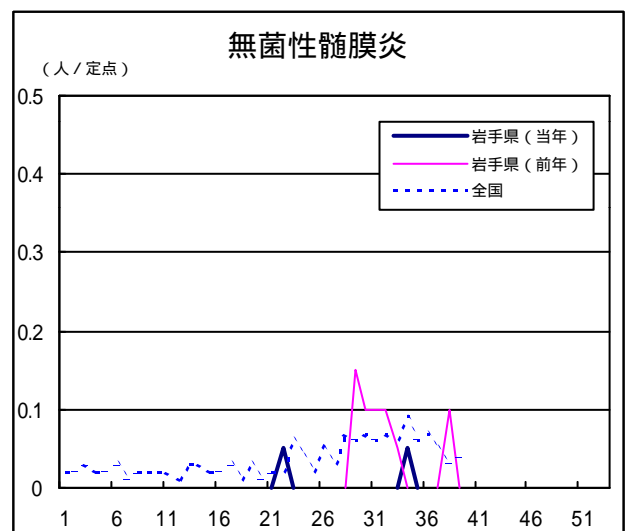
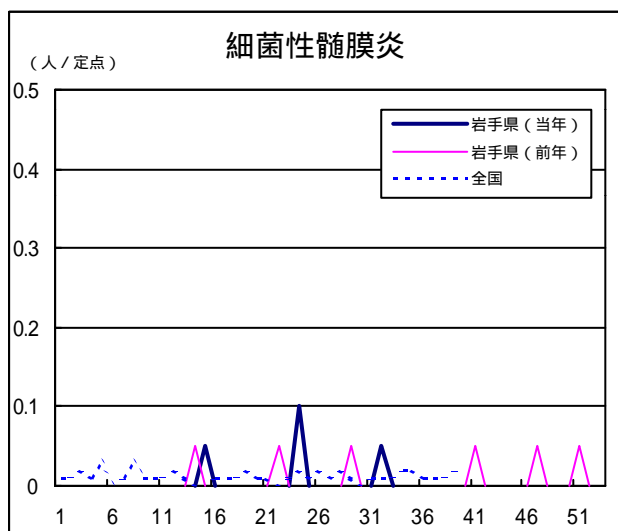
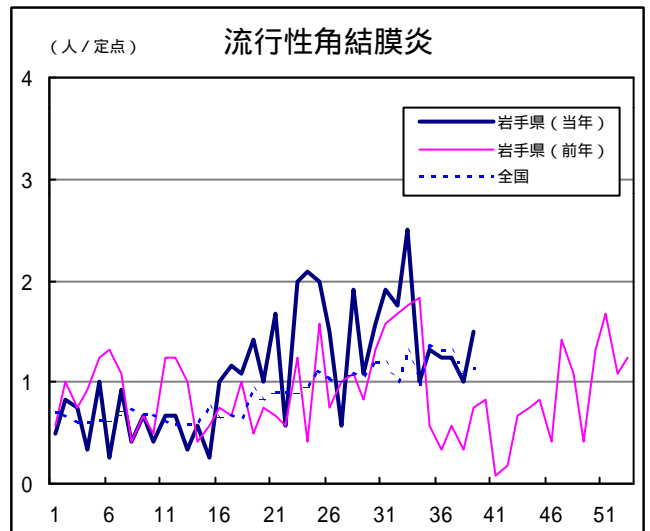
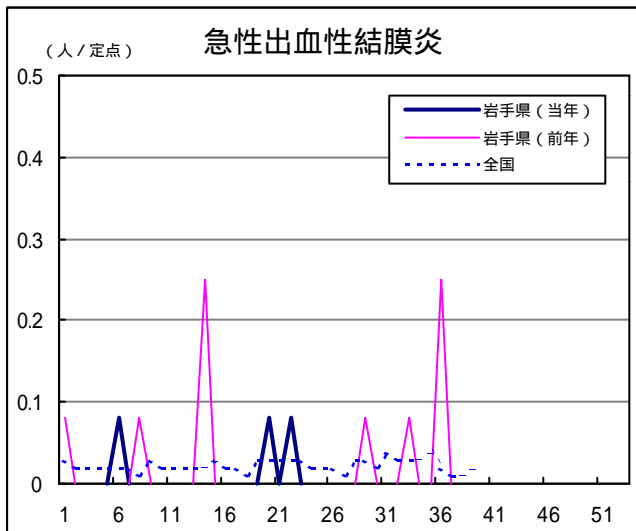
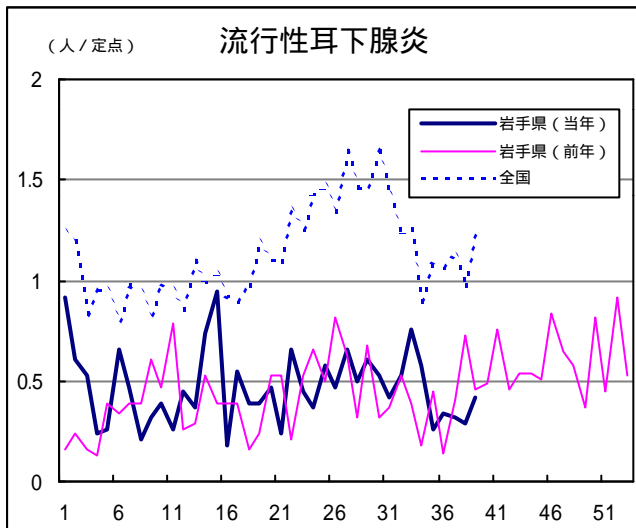
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

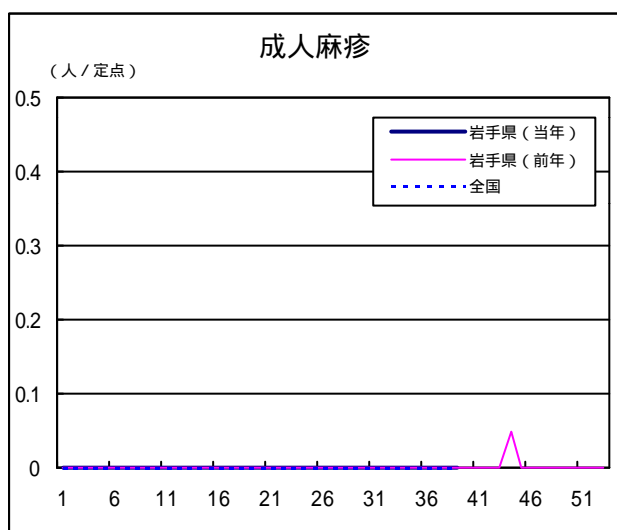
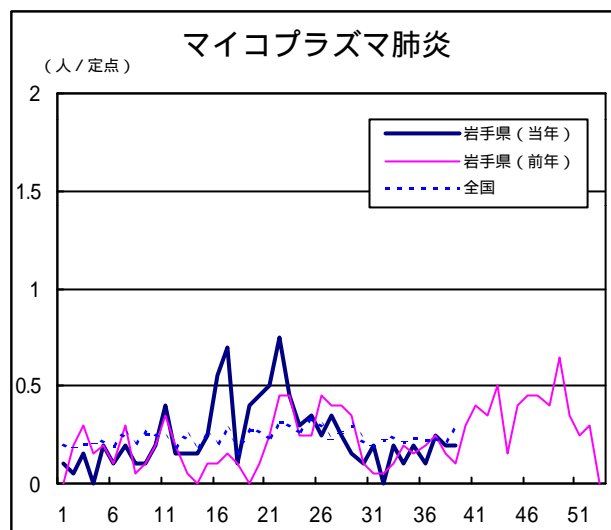
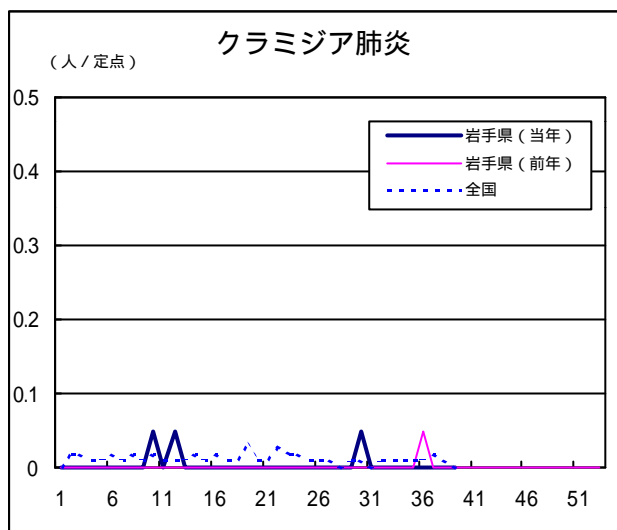
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第39週 平成17年10月7日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>